

令和 3 年度 第 5 回理事会

- 1 招集日時 令和 4 年 2 月 18 日 (金) 16:00～
- 2 開催日時 令和 4 年 2 月 18 日 (金) 16:00～
- 3 開催場所 web 開催
- 4 出席役員 理事 居鶴 一彦 植木 哲也 鈴木 貴志 加藤 裕之 國井 徹
 彦田 耕一 樋口 悦子 伊藤 久美 長澤 彩 白田 美香
 田中 静佳 門間 美穂 大江 雅宏 阿部 宏美 古城 尚子
 荒生 聖子 高橋 郁子 玉井 真実
 監事 小川 一弥 長澤ゆきえ
 (総理事数 22 名、監事数 3 名)
 議長 居鶴 一彦
 書記 白田 美香 阿部 宏美

5 議事

本理事会は、理事 22 名のうち 17 名が出席であり、定款第 33 条に基づき理事会における議決が成立することが確認されたのち、議事に入った。(途中参加あり 計 18 名)

○ 報告

1. 会長報告／日臨技・北日本支部

居鶴会長より別紙資料をもとに報告があった。

1) 令和 4・5 年度理事候補者の推薦（意見）について

例年どおり、来年度の県技師会会長を理事候補として推薦する予定。

2) 看護職員等処遇改善事業実施要綱について

厚生労働省からのコロナ対策のために取り組んでいる看護職員等に対して賃上げを検討するよう都道府県知事への通知があった。

臨床検査技師も該当するため、職場が該当する場合は措置をとることになる。

3) 第 71 回医学検査学会（大阪府）への座長推薦依頼あり。一般演題 488 題のエントリーあり。

開催方法は未定（Web または現地）。

山形県への座長依頼分野：微生物・生理・管理・遺伝子 各 1 名。

学術部長から部門長へ案内・依頼中。

4) 都道府県技師会主催「地域ニューリーダー育成講習会」について

山形からは該当者がいないため今回はキャンセルとする。

5) 衛生検査所・地区委員会調査指導員選考依頼について

下記の通り登録済。

検体：植木副会長（県立中央病院）

6) ワクチン接種実技研修実施状況について

Web 研修実施。座学：64 名が修了済。 実地講習会：未定。

山形県ではワクチン打ち手が充足している状況であり、臨床検査技師がワクチン打ち手を現時点では実施する予定はないが受講は進めておくこと。

7) 永年職務精励賞の表彰該当者について

今後、日臨技から各県の該当者通知をしないことになった。

そのため山形県での該当者が把握できなくなった。

8) 精度管理試料申込について

実施予定。 参加申込：3/15 開始 締切：4/8

9) タスクシフト指定講習会について

山形 受講中：96 名 指導者：7 名 Web 研修修了：24 名

今後、実地研修を年に数回実施していく。

10) 輸血細胞治療学会と日臨技との研修会について

輸血テクニカルセミナーを実施する。

輸血細胞治療学会と日臨技において地域分けが異なるため調整中である。

11) 来年度の都道府県技師会との関連事業の紹介について

- ・生涯教育推進研修会助成
- ・全国「検査と健康展」
- ・「地域ニューリーダー育成講習会」
- ・「初級・職能開発講習会」

北日本支部にて持ち回りで実施中。山形県でも県主催で実施。

支部学会担当の学生フォーラムについては今後も継続するか、運用を検討していく。

12) 日臨技理事会開催について

日臨技理事会：1/22 開催

北日本支部の幹事会：2/25 開催予定

2. 各地区（村山／庄内・最上／置賜）

村山：特になし。

庄内・最上：1/29（土）第2回地区研修会を実施した。参加人数：39 名。

置賜：3/5（土）Web 研修予定。幹事会予定。

3. 各部（庶務／会計／学術／企画）

庶務：山形県臨床検査技師会災害時支援対策マニュアル策定について

今年度中に策定したい。

会計：今年度の活動費返金を期限までお願いしたい。メールにて依頼済。

学術：2/17 に学術部の研修会を実施した。各部門について2月はWeb研修が多い様子。

企画：（鈴木副会長代理報告）

第48回山形県公衆衛生学会の協賛金の振り込み（¥20,000）を行った。

NP0 法人子宮頸がんを考える市民の会へ寄付（¥30,000）を行った。

NP0 法人子宮頸がんを考える市民の会 HP に山臨技 HP のリンクが貼られている。

日臨技へ全国「検査と健康展」の報告と収支報告をした。

4. 各委員会（生涯教育／精度管理・データ標準化／「山形医学検査」編集／ホームページ）

生涯教育：誤りがあったら年度内（3月中旬まで）にお知らせください。

また必要時は自己申告書の提出をお願いします。

精度管理・データ標準化：特になし。

「山形医学検査」編集：2月末に Vol. 31 No1 発行予定。論文投稿なし。

ホームページ：各部門研修への案内や報告を掲載した。

5. その他

なし。

○議題

1. タスクシフト/シェア講習会について

厚生労働大臣主催の講習会であるため、会員、非会員に関わらずライセンス取得者は受講すること。

植木副会長（担当理事）より下記の通り報告があった。

- ・新型コロナ感染状況を鑑み、令和4年2/27（日）開催予定の第1回タスクシフト/シェア研修会は中止（延期）
- ・中止に伴う会場のキャンセル費は発生しない予定。
- ・令和4年4/10（日）に開催予定。会場：ビッグウィング
2/27への参加申込者はそのまま4/10に受講可能。そのため入金済の参加費は返金しない。
該当者45名および講師へはメールにて通知する。現在、15名分の空きがあるため、期日までのWeb講習終了者は新規申し込みも可能。受講料15000円のうち5000円は山臨技で負担する事となっている。

2. 臨地実習指導者講習会について

居鶴会長より報告があった。

学生指導において研修受け入れ施設に指導員をおかなければならない。

（講習会は、現在1施設1名の縛りあり。今後緩和予定。）

第1回北日本指導者講習会：2/19開催予定。60施設参加予定

山形県受講予定：荘内病院、日本海総合病院、県立中央病院

ファシリテーター：居鶴一彦会長 叶内和範（山形大学医学部附属病院）

学生だけでなく若手技師の教育へも活用できる内容のため、講習会用テキストを活用してほしい。

3. 令和3年度総括と決算予定状況

新型コロナ禍のこともあり、対面での研修が難しかった。

総会にむけて各担当者は総括・決算をまとめておくこと。

総会：6月（第1週か第2週）予定（庶務部長より案内実施）

報告書・議案書の作成は各担当者と相談して進めていく。

会計監査についても日時を検討する。

4. 令和4年度活動方針と予算について

活動方針は決算の状況をみて決定していくが、活動内容に大きな変化はないと思われる。

大江理事より

- ・精度管理報告会において「発表者の声が小声で聞こえない。」「アドバイス者が報告者より若く、アドバイスできない。」との意見が寄せられた。

居鶴会長より

- ・Web開催の研修では交流が得られにくい。新型コロナが収束してきたら部門長を中心に活動方法を検討していただきたい。「山形医学検査」の論文投稿の推進をお願いしたい。

高橋企画部長より（鈴木副会長代理報告）

- ・「学生ガイダンス」と「検査・健康展」を一緒に実施してはどうかとの提案があった。

他、ご意見ありましたら居鶴会長までメール下さい。

5. その他

居鶴会長より

来年度の理事継続について依頼があった。

高橋企画部長より（植木副会長代理報告）

県技師会事務所にて理事会開催時の駐車場について

事務所近くにある業者さんの駐車スペースを借りる事ができないか。→難しいだろう。

市の駐車場（ジャバ近く）を活用。→遠い。今後検討していく。

國井庶務部長より

大規模災害発生時に日臨技が被災した各都道府県に支援を行うために災害対策支援規程を作成した。その規程を基に災害時支援協定書を作成し、この理事会での承認後、日臨技へ提出する。

また各都道府県技師会での災害対策マニュアル作成が求められており、山臨技でも作成する必要がある。

災害対策マニュアル作成にあたり、下記項目の確認があり決定された。

- ・災害対策本部 第2 設置場所について：執行理事の所属先とする。
- ・組織構成について：役職名（副会長、理事等）を記載する。
- ・臨床検査薬卸連合会について：業者名は記載しない。
- ・訓練の実施回数について：規定はないため、年1回の実施とする。
- ・コンタクトリストの記載について：北日本支部の県名のみ記載する。
- ・費用支弁、傷害保険の記載について：空欄のまま日臨技へ提出し、アドバイスをもらう。
- ・災害時の連絡方法について：SNSを活用することも検討する。

まずは作成し、少しずつ改良していく。

國井庶務部長、居鶴会長とで作成を進めていく。

○連絡事項・その他

居鶴会長より

居鶴会長は今年度をもって会長職を退任となる。

- ・次回理事会（令和4年度 第1回）

令和4年 4月予定 （時間・場所未定）